

4月の植物

ツルコウジ (学名 : *Ardisia pusilla* A.DC.)
ヤブコウジ (学名 : *Ardisia japonica* (Thunb.) Blume)
サクラソウ科 (APG 体系) ヤブコウジ属

観察会の事前調査で唐津市の高島を訪れた。登山道の脇にヤブコウジがあると思って見ていたら、ツルが這っているのでツルコウジだと教えていただいた。ヤブコウジもツルコウジも林床に生える常緑小低木で樹高は10~15 cm程度だが、違いは以下の通り。ツルコウジはヤブコウジよりも全体に毛が目立ち、鋸歯が荒い。ヤブコウジは地下茎が分枝して広がるのに対して、ツルコウジは地上でツルが這う。

ヤブコウジはセンリョウ、マンリョウと同様に赤い実をつけるささやかな姿から「十両」とも呼ばれる。ツルコウジも同じく赤い実をつけるが、インターネット上で調べたところ、なんと「一両」と呼ばれることがあるらしい。ヤブコウジと比べると確かに粗削りな造形で、ささやかながらも野趣を感じる。そのような風格をして僅か一両と呼ばしめたものか。しかしそのような呼称も本種を貶めるより野性味あふれる姿を称えた勲章のように私には感じられる。

ヤブコウジが虹の松原の林床などにあちこち群生していることは知っていたが、今回、ツルコウジを初めて知ったので、これからはヤブコウジと思いきものの中に趣が異なる本種があるのかもしれないと、注意深く観察してみたい。

(寺村朋輝)



ツルコウジ 2019年3月31日 唐津市高島



ヤブコウジ 同年4月2日 唐津市虹の松原